

11月の産地情報

輪菊	白菊	愛知、静岡産中心。下旬より精の一世から神馬、精興の誠へ切り替わる。中下旬はやや不安定な出荷となる見込み。
	黄・赤菊	静岡、愛知産中心。閑散期となり全体的に少な目の出荷状況だが、沖縄産の出始めで下旬頃より数量が増加する見込み。夏秋系品種から秋冬系品種へ切り替わる産地あり。
小菊		静岡、沖縄産等が中心。全体的に少な目の出荷となり、色バランスも崩れる見込み。福島産は上旬までの出荷となる。
SP・ディスバッド		・SPマム：周年産地中心で、品種がほぼ秋系に切り替わる。色によって不足感のある時期が予測される。出荷量は昨年並みの予定。 ・ディスバッド：愛知、青森中心。中下旬から増加してくる見込み。
バラ		山形産は減少。愛知、静岡産、輸入などが増えてくるが、前半は下位等級が多い出荷となる。
カーネーション		千葉、静岡、長崎などの暖地の出荷がメインとなる。40-50cmが中心となるが、気温の低下と共に丈・品質も向上していく。
ガーベラ		静岡中心で、品質も良くなってくる。一部産地は加温も始まる為、微増となる見込み。
かすみ草		高冷地終盤。暖地への切り替えもスムーズな流れとなりそう。熊本・和歌山産が中心となる。
リシアンサス		関東・高知中心。今期は定植を遅らせている産地が多く、昨年よりやや多い出荷が見込まれる。
ユリ	オリエンタル	北海道は終了、新潟産山手は終盤へ。新潟平場は継続、中心は高知となる（前半はOTが中心）。
	スカシ・鉄砲	・スカシLAユリ：新潟、埼玉中心で数量は例年並みの見込み。 ・テッポウユリ：新鉄砲百合が終了。球根鉄砲ユリが高知、千葉、埼玉より出荷あり、例年並みの見込み。
洋ラン類		・オンシジューム：国産、輸入共に出荷が落ち着いてくる。 ・カトレア：生育が遅れていた産地が少しずつ咲き始め、出荷が増えてくる。 ・シンビジューム：ニュージーランド産が出荷終了間近の為数量減。国産（群馬）が徐々に出荷開始。 ・デンファレ：国産、輸入共に潤沢。・ファレノプシス：国産はミディ中心。輸入は大輪V3中心で潤沢な出荷。
季節もの		・ストック：山形産は概ね順調な生育。10月下旬から出荷スタート予定。天候次第だが11月はある程度まとまった出荷量となる見込み。 ・クリスマス向けコニファー系：潤沢。 ・輸入コットンフラワー：競り品は出荷が少ない為、早めのご注文をオススメします。